

平成19年度 赤平の貯金箱
 <歳入額>
171億 5975万円
 自主財源28.2% 依存財源71.8%
 (不能欠損額 1,488万円)

決算審査特別委員会の様子

※今回の定例会では、9月12・16・17・18日の4日間、19年度の決算が適正であるかどうかを各予算科目の担当課毎に審査しました。

平成19年度の決算について

No.3

ピックアップ
特集記事

決算の感想をズバリ!
決算審査特別委員会
獅畑輝明委員長に



市民の皆様の大きな関心事

でありました、平成19年度の「健全化判断比率」などが報告され、財政再生団体への移行を回避する取り組みが着実に実行されているか、マチの再建・再生の道筋を見極める大切な委員会でありました。結果、全会計が「認定」されました。今後議会では、「財政健全化法」が適用される平成20年度決算の行方を、しっかりと見据えながら、市民の期待に添えるよう、さらに努力をしてまいります。

平成19年度決算総額 <歳出額>

173億 7317万円

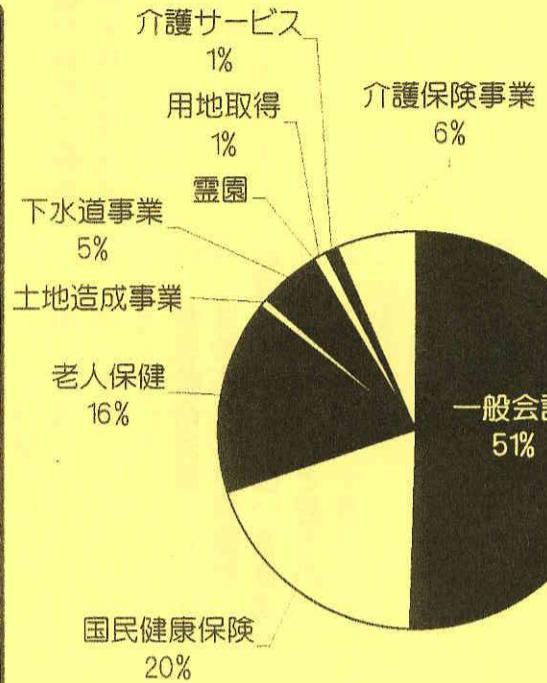
[内訳]

■一般会計

87億 7461万円

■特別会計

国民健康保険	34億	837万円
老人保健	27億	3442万円
土地造成事業		7889万円
下水道事業	8億	8548万円
靈園		1267万円
用地取得	1億	8471万円
介護サービス	1億	9510万円
介護保険	10億	9889万円



議会 Note Book ③

監査報告を終えて

監査委員（議会選出）

五十嵐 みち



毎年、9月の定例市議会で前年度の一般会計及び各会計の決算について、監査の意見書を付して審査します。

本年も9月12日から18日まで、平成19年度の決算審査を特別委員会を設置して行われ、審査の結果は認定とされました。その中で、監査の使命は、「法に定められた権限に基づいて、市の財務に関する事務の執行、経営にかかる事業の管理、市の事務等が適正に行われているかについて、監査を実施し、その結果に関する報告を決定、これを議会、市長等に提出し、公表する」とされています。その中で、新しい財政健全化法のもと、各会計ごとの決算から、すべての会計を連結決算で行うとされました。実施するのは、平成20年度の決算からですが、今年の決算は、19年度分で準備段階でしたが、財政健全化法で示されているのは、1. 財政が比較的健全か、2. 早期の財政健全化が必要か、3. 財政の再生が必要か、この3段階のうちそれぞれの自治体の財政状況がどのようにになっているのかが、問われています。その中で、赤平市は、大変厳しい財政状況下にありますが、今月行われました平成19年度の決算では、昨年見込まれた比率より行財政改革の取り組みの効果で、下がっている事を報告いたしました。

今回の監査報告などの公表は、住民の生活がかかっておりますので、監査委員として常に公平不偏の態度で、監査などの実施にあたりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

あかびら市議会 フォトスタンド



8月31日(日)に、総合体育館で開催された、第4回赤平市赤い羽根共同募金のチャリティーで、全員で参加し、ZARDの「負けないで」を歌いました。

—・編・集・後・記・—

みなさん こんにちは。

今年も、もう10月ですね！段々と寒くなっていますので、風邪などひかないように体調管理には、十分気を付けましょうね☆

さて、今年度から定例会ごとに発行することとなりましたこの「かわら版」ですが、いかがでしょうか？「読んでいますよ」とか「少し字が多くすぎでは」などのご意見をいただいているところでございます。今回は、少しでも、赤平市議会の様子をみなさまに知つてもらいたいと思い、写真を多く掲載してみました。紙面の工夫などもさらに協議し、わかりやすい内容に努めたいと思っておりますので、さらに、ご意見お寄せいただきたいと思います。

かわら版編集委員

宍戸・谷田部・五十嵐・太田・植村

